

2022年7月8日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



## 出光興産株式会社が発行するトランジションボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下当社)は、このたび、出光興産株式会社が発行するトランジションボンド<sup>(1)</sup>(5年債・100億円、10年債・100億円、以下、本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント<sup>(2)</sup>を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

出光興産株式会社は、2030年に向けた経営ビジョンとして「責任ある変革者」を掲げています。「暮らしと地球を守る責任」「地域のつながりを支える責任」「技術の力で社会実装する責任」の3つの責任を、カーボンニュートラル・循環型社会へのエネルギーマテリアルトランジション、高齢化社会を見据えた次世代モビリティ&コミュニティ、これらの課題解決を可能にする先進マテリアルの事業領域を通して果たしていくことを公表しています。

本社債は、経済産業省の「令和3年度クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に係るモデル事例」に国内石油分野で初めて選定されており、適合性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、ICMA クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2020、ICMA グリーンボンド原則 2021、金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針(2021年5月版)及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金使途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名	称	出光興産株式会社第 15、16 回社債 (社債間限定同順位特約付) (トランジションボンド)	
		第 15 回債	第 16 回債
発行年	限	5 年	10 年
発行額		100 億円	100 億円
利率		0.480%	0.879%
発行日		2022 年 7 月 8 日	
償還日		2027 年 7 月 14 日	2032 年 7 月 14 日
資金使途		「CNX センター化 (SAF (持続可能な航空燃料) の製造・供給に関するプロジェクト)」、「電力・再生可能エネルギー」、「石炭火力発電に対する低炭素ソリューション」を中心としたプロジェクトへの新規投資及び既存投資のリファイナンス	
取得格付		A (株式会社格付投資情報センター)	
主幹事		三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 大和証券株式会社 みずほ証券株式会社	
ストラクチャリング・エージェント		三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	

- (1) トランジションボンドとは、パリ協定の実現に向けた中長期的な移行戦略(トランジション)があり、かつ資金途限定の債券
- (2) フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、トランジションボンド等の発行支援を行う者

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上